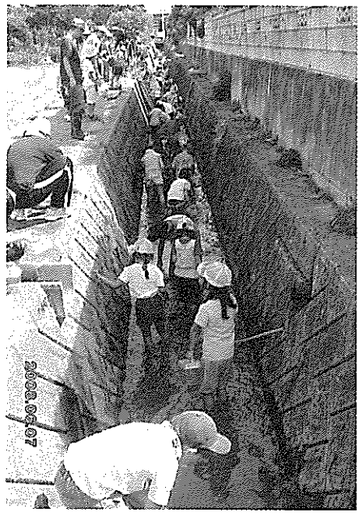
松尾育成会便り

平成20年度
第19号
松尾青少年健全育成会
広報部

いた！つかまえたー！

松尾の川の水中生物をつかまえよう

幾日も続いた雨がうそのような晴天に恵まれた六月七日（土）の朝、132名という大勢の参加者を迎え「水中生物をつかまえよう」が行なわれました。始めに伊那谷自然友の会前会長の北城先生から、川にいる生き物の話や上手な捕り方を教えていただき中溝川へ行きました。予めかけられたはしごから川へ入った子供たちは、先生に教えてもらったように、ざるの中へ、足をつかって生き物を追い込み、上手に捕まえました。容器の中は見る見るうちに、どじょうやヤゴ・豊年エビなどでいっぱいになりました。梅の花に似た梅花藻も咲いていて、松尾の川がまだまだきれいなことがわかりました。その後公民館に戻り、捕まえた生き物をルーペや顕微鏡を使い観察しました。「楽しかった」「来年もまた来ます」といった声がたくさん聞かれました。



二年二組　齋木茉凛

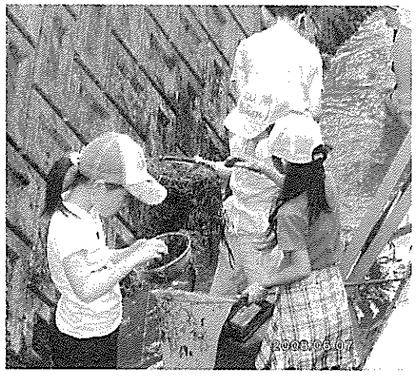
中みぞ川でどじょうを、田んぼでおたまじゃくしをとりました。かえってきて、けんびきょうでみたら、おたまじゃくしのとくちょうがわかりました。オレンジ色のぼうじをかぶった青少協のおじさんにみじんこを見せてもらいました。わたしの目ではちいさい物が動いているのしかみえません。ですが大きく見ると、たまごみたいでした。いろんなことがたいけんできて、うれしかったです。

すいちゅうせいぶつ

一年　きのしたしゅんたろう

きょうはなかみぞ川で水中生ぶつをかんさつしました。どじょう3びきつかまえました。ぬるぬるしてむずかしかったです。とろうとするとつるっと、にげられました。

むかしからいたほうねんえびと、かぶとえびをみつけました。せいしょうきょうのおじさんがおしえてくれました。



きょうはいってよかったです。らいねんもまたいきたいです。

はじめてみた いととんぼのやご

一年　つがねひなこ

なかみぞがわへいきました。わたしはとれなかったけど、おじさんがなにかくれました。みずかまきりだとおもっていたら、いととんぼのやごだと、おともだちがおしえてくれました。かわにはいってうごきにくくて、きもちわるかったけど、たのしかった。

みんなで育てる

松尾小学校長　矢澤　登

ある学級のお便りに次のような日記が載っておりました。

『ぼくは四年生の頃あまりあいさつができなかったし、帰りに「お帰りなさい」と言われても返してなかったけど、五年になってできるようになりました。なぜできるようになったかというと二つあります。

まず一つは毎朝の児童会のあいさつ隊のおかげです。あいさつ隊が大きな声だったら（あいさつの木の）葉っぱをくれるので、あいさつをするようになりました。

二つ目は、帰りや行きにボランティアでやってくれる地域の皆さんのおかげです。ぼくはボランティアの人たちは、誰かに頼まれてやっているのではなく自分たちでやっていると分かり、地域の皆さんにあいさつするようになりました。

この日記を書いた子どもは、ボランティアの方の姿にふれ、心が揺さぶられ、自ら挨拶をするようになっています。

あらためて、学校、家庭、そして、地域社会が相互に関連しながら子どもたちを育てていることを実感いたしました。

今日、社会やライフスタイルの変容を背景に家庭や地域の教育力の低下が指摘されています。しかし、まだまだ松尾地区は大人とのかかわり、異年齢の子どもたちとの遊びやスポーツなどを通じた切磋琢磨、自然の中での体験活動等があります。

今後も一体化した教育ができるようお支えをお願いします。

健やかな成長に心を寄せて

松尾地区自治会長　宮下吉彰

最近、青少年による家族間の殺傷事件が連日報道されるのを見聞きするたびに家族の絆とは何かを改めて考え直さずにはいられません。本来は、その人が最も安心して憩える場所であるはずの家庭が、凶悪事件の現場となってしまっていることに深い悲しみを覚えます。こうした中、松尾地区は年々人口が増加し、子どもの数も増え、子どもたちの明るい声が聞こえてきて、活気のある様子が伝わってきます。

松尾地区自治会は「地域の子どもは地域で育てる」を合言葉に、将来を担う子どもたちの健やかな成長を願い、惜しむことなく教育環境の整備に支援を行ってきました。資金的な面だけでなく、朝のあいさつ運動に全区で取り組んでいただき、本年度は加えて下校時の見守り運動を実施する計画があります。

健全育成という観点では、子どもの目線に立って考えることが大事であると思います。そうした中で、大人として伝えるべきことはしっかりと、時には厳しさをもって伝えていくことが大切であると考えます。松尾地区の歴史・文化・伝統そして豊かな自然を子どもに寄り添いながら伝えていくことで、地域に感謝と愛着を持った子供が育ち、一端はこの地を離れても、故郷の思い出を胸に再び戻ってきて、この地域で活躍してくれることを心から期待しています。松尾地区自治会では、そうした子どもの健全育成に少しでも力になれるよう、今後も全力でまちづくりを進めて参ります。どうか皆様のご理解とご協力をお願い致します。

松尾少年ゲートボールクラブ

第2・4土曜日に、竜水園ほっと湯とアップル横ゲートボール場で、おじいさん、おばあさんに教えてもらっています。玉をゲートに通すのは、子供達には難しいようで苦労していました。ゲートに玉が通過すると、子供達にも笑顔が戻り、とっても楽しそうです。季節によって、行う時間が違いますので興味のある方は問い合わせてみて下さい。

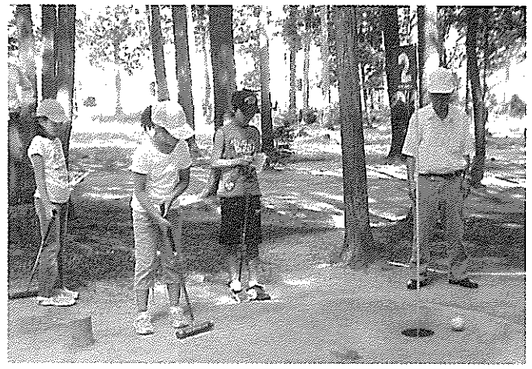
マレットゴルフであそぼう

7月19日(土)朝8時30分八幡山マレットゴルフ場は場外の暑さとは別世界の涼しさです。木立の隙間から少しだけ陽が差してとても快適です。

高齢者双葉会のみなさんの指導で子供達に「マレットゴルフを楽しもう」を開催しました。

開会式の後でルール説明と簡単な実技指導を受けて、さっそく1番ホールに向います。なんといっても初めてのこと、空振り2回やOBあり、強すぎたり、弱すぎたりで思うようにはいきませんが、双葉会の皆さんの親切な指導で何とかホールアウトして次のホールへ向います。

2番ホールから3番ホールになってくると緊張もとけてきて、笑顔も出て声も出てきて賑やかになってきました。子供達はホールが進むごとに上手になっていき、楽しくラウンドをすることができました。



楽しかったマレットゴルフ

四年　宮澤宏武

七月十九日に、やわた山マレット場へ行ってマレットゴルフをしました。育成会と高れい者の人たちに教えてもらって楽しかったです。始めは、上手に玉がうてなかったがやさしく教えてくれたので上手になり二回でホールに入った所もあり、とてもおもしろかったです。ぼくは一位になりました。またマレットゴルフをやりたいです。

楽しかったマレットゴルフ

宮内亜美

わたしは、七月十九日に八幡山マレットゴルフ場でマレットゴルフをしました。ふた葉会のおじいさん、おばあさんにルールを教えてもらって、マレットゴルフを楽しみました。

まず、マレットゴルフのルールを教えてもらいました。わたしの知っているルールとは、ちょっとちがいました。それからチーム分けをして、ボールを打つ順番を決めました。

一ホール目から打ちました。最初はボールを打ってもまっすぐとばなくて曲がってしまい、調子がよくありませんでした。ふた葉会のおじいさんが、「ここは木と木の間を通した方がいいよ。」とか「一回でボールを打ってこの辺まで来るといいよ。」とアドバイスをしてくれました。その通りにしてみるとうまくいきました。きょりが長いコースはむずかしくてなかなか入りませんでした。きょりが短いコースはボールが入ってうれしかったです。山なりの所は、強く打つとオービーに行き、弱く打つと登らなくなったからとてもむずかしかったです。

二時間くらいで、十八ホール全部打ちました。帰りにペットボトルのお茶をもらいました。おじいさん、おばあさんに教えてもらってよかったです。

お知らせ

今後の育成会事業

〈行事部〉
- ○10月／高齢者との交流
- ○11月／ニュースポーツを楽しもう
- ○2月／松尾地区文化祭「子供ふれあい広場」

〈教養部〉
- ○9月／あいさつ標語募集・10月～発表
- ○あいさつ標語の看板移動
- ○松ぼっくり池の管理

地区だより

清水　一年生を迎える会

一年生を迎える会が5月11日(日)清水コミュニティーセンターで開催されました。

六年生の司会・進行で始まり来賓の挨拶の後で一年生が登場しました。ステージに上って一人一人自己紹介しますが、堂々と出来る子供や照れてうつむいてしまう子供もいましたが、六年生のリードでなんとか自己紹介を終えることが出来ました。

ビンゴゲーム、座布団取りゲームと進み皆で大騒ぎをしながら楽しい時間が経っていきました。

タイミングを見計らっておやつタイムとなり、この時間は今迄の騒ぎがうそのように食べて飲むことに夢中になりました。

その後は昼まで外で遊び、美味しい昼食で解散となりました。

八幡　夏休みお楽しみ会

七月二十七日、お楽しみ会のボーリングが、ほぼ全員参加と未就学児童、一部保護者で行なわれました。

一投毎に歓声があがり、外の猛暑も忘れ楽しくできました。恒例のラジオ体操は上段下段に分かれ六年生中心に、地域の方の参加もあり行なわれ「朝の体操は気持ちいい。」と子供達も元気に体を動かしておりました。地区懇親会で上段に、「安全の家」が一軒もないと話が出て、新たに上段五軒、下段二事業所に「安全の家」をお願いする事になり、地域の子供は地域で守る事を確認しました。お互い声がけの出来るようにしていきたいと思います。

城　サマーフェスティバル

今年で7回目を迎えた、城区のサマーフェスティバル。7月20日(日)の夕方から盛大に行われました。ここ2年、雨に降られて屋内での開催でしたが、今年は集会所横の広場で、小さなお子さんからお年寄りまで、城区民が一堂に集まり各部会がこの日の為に準備した出し物を、力一杯発表し大盛り上がり。両壁太鼓や十四五会らのゲストも出演し、唄ありダンスありクイズありと、まさにサマーフェスティバルの名にふさわしい夏の夜の祭りとなりました。

寺所　一年生を迎える会

5月11日(日)、午後1時から寺所集会所で「一年生を迎える会」が行なわれました。

今年の新一年生は10名で、寺所の児童は60名おります。

地区児童役員の進行で、全員参加の「座布団とり」・「○×クイズ」。チーム対抗の「新聞島」。学年ごとに「宝さがし」とゲームをして、楽しいひと時を過ごしました。

一年生には一人一人に、入学のお祝いにとプレゼントが手渡されました。最後は全員におやつが配られ、宝さがしやゲームで勝ち残った賞品と供に嬉しそうに持って、それぞれの家路につきました。